

「鉄と鋼」「ISIJ International」投稿規程改訂のお知らせ

既に「鉄と鋼」誌上でお知らせいたしましたように、平成7年4月の当会改組に伴い、「鉄と鋼」「ISIJ International」への投稿論文は、論文誌編集委員会において、受付、審査、掲載にいたるまで、和文・欧文の区別なく同様の形式・手順で処理いたすことになりました。これに伴い、投稿規程・投稿申込用紙を改訂いたしました。

尚、この投稿規程は平成7年4月1日より有効ですが、会員の皆様への周知期間を考慮し、平成7年8月末日までは、旧投稿規程に準じた投稿論文も受付けております。

「鉄と鋼」「ISIJ International」投稿規程

1. 投稿資格

著者の半数以上が、本会個人会員であること。但し「ISIJ International」は、広く国内外の著者からの投稿を受付ける。

2. 原稿の内容

- (1)鉄鋼並びに各種材料・プロセスに関連する分野の学術及び技術の発展に寄与するもの。
- (2)両誌掲載以前に発表される可能性のないものに限る。但し、分野別部会の報告書に掲載された内容を含む原稿は投稿できる。
- (3)投稿は「鉄と鋼」、「ISIJ International」のいずれか一方のみとする。
- (4)「鉄と鋼」の原稿は和文、「ISIJ International」の原稿は英文で書かれたものでなくてはならない。

3. 原稿の種類

原稿は以下の3種類とする。原稿の種類は審査の結果、変更を要請する場合がある。(2)のレビュー/Reviewは論文誌編集委員会からの依頼を原則とするが、著者からの申込みを編集委員会が認めれば投稿できる。

- (1)論文/Regular article (「鉄と鋼」は刷り上がり6頁、「ISIJ International」は10頁以内)：鉄鋼工学、材料学、製造技術、設備技術及び鉄鋼をはじめとする材料の利用技術に関する学術ないし技術上の未発表の成果を記述し、その内容の客観性を論証したもの。
- (2)レビュー/Review：一つのテーマについて、既発表の研究や資料を総合的に集録・紹介し、読者に有益な情報を与えるもの。
- (3)寄書/Note (刷り上がり3頁以内)：
 - (a)速報価値のある発見や成果を要領よくまとめたもの。
 - (b)新しい研究や技術を簡明に紹介したもの、興味あるトピックス、意見、提案を述べたもの。
 - (c)両誌に掲載された論文等に対する意見、例証、反証等を述べたもの。

4. 単位

単位は国際単位系(SI)を用いる。但し、SI併用単位は使用できる。(添付表参照)

5. 投稿の手続き

(1)原稿

下記の①から⑧(寄書/Noteの場合、②と③は不要)を完備した正原稿1通、副原稿1通を提出する。副原稿の写真は、鮮明で良質なコピーでもよい。

- ①Application Form (本会所定のもの)；②Synopsis (英語で250語以内)；
 - ③Key Words (英語で数語・添付表参照)；④Text (本文)；⑤Reference (文献)；
 - ⑥Appendix (付録)；⑦Caption List (キャプションリスト)；⑧Figures/Tables (図・表)
- (2)原稿送付先及び連絡先：〒100 東京都千代田区大手町1-9-4経団連会館3階

(社)日本鉄鋼協会 編集・業務グループ「鉄と鋼」/「ISIJ International」係

6. 原稿の受付

投稿された原稿が本会に到着した日を受付年月日とする。但し、投稿規程及び執筆要領記載事項が守られていない原稿は受け付けない。

7. 受付後の取り扱い

原稿は論文誌編集委員会において審査し、掲載の可否を決定する。審査の結果、修正・加筆・削除等を著者に依頼することがある。著者は修正箇所を説明した回答書及び旧原稿を添えて、修正済み原稿1部を再提出する。依頼日より3ヶ月を過ぎて再提出されたものは、原則として新規投稿とみなされる。論文誌編集委員会が掲載可と決定した日を受理日とする。

8. フロッピーディスクによる原稿提出

印刷の正確を期すため、著者は、掲載可と判定された原稿を収載したフロッピーディスクを提出することが望ましい。詳細は掲載決定通知とともに、著者へ連絡する。

9. 校正

掲載が決定した原稿は、著者による校正を1回行う。この際、印刷上の誤り以外の修正・加筆・削除は原則として認めない。

10. 原稿料

依頼原稿の著者には、本会の規定により原稿料を支払う。

11. 別刷り購入の義務

別刷りは有料とし、論文/Regular article及び寄書/Noteの著者は、最低50部を購入しなければならない。

12. 著作権の帰属

掲載された記事の著作権は、受付年月日から本会に帰属する。

「鉄と鋼」「ISIJ International」執筆要領

1. 原稿の長さ

原稿の種類別に投稿規程に定められた刷り上がり頁制限を厳守する。字数換算の目安は以下の通り。

	鉄と鋼	ISIJ International
刷り上がり1頁	約2400字	約1000語
表題・著者名・Synopsis・脚注	約1500字	約500語
引用文献	1件約50字	1件約20語
図	刷り上がり横幅85mm未満(以上)の場合は、刷り上がりの高さ10mmあたり約50(100)字	110mm×84mmの場合、約250words

2. 原稿書式

A4判用紙にワープロで横書きとする。鉛筆書き不可。「鉄と鋼」は1頁:25字×18行、「ISIJ International」は、上下・左右十分余白をとり、ダブルスペースでタイプ打ちする。

①Synopsisは、目的、方法、重要な結果等を、簡潔明瞭に英語で250語以内にまとめ、A4判用紙にダブルスペースでタイプする。(寄書/Noteは不要)

②Key Wordsは、記事内容を表す重要な述語数語を英語で選ぶ。固有名詞以外は小文字で、語間はセミコロンで区切る。(寄書/Noteは不要)

③本分の章、節、項、小見出しの記号は、下記の要領に従って表記する。

章	1	2	3
節	1. 1	1. 2	1. 3
項	1. 1. 1	1. 1. 2	1. 1. 3
小見出し	(1)	(2)	(3)

④引用文献は、本文中の引用箇所¹⁾, ^{2,3)}, ⁴⁻⁶⁾のように、上付き通し番号を付けて示し、本文の最後に頁を改めて、番号順に記載する。執筆者名は全員記載する。記載例は以下の通り。

- 例) 1)増子昇:鉄と鋼, 77 (1991), 871.
 2)鈴木茂, 鈴木堅市:材料とプロセス, 5 (1992), 1433.
 3)第3版鉄鋼便覧III, 日本鉄鋼協会編, 丸善, 東京, (1980), 717.
 4)浅井滋生:第153・154回西山記念技術講座, 日本鉄鋼協会編, 東京, (1994), 89.
 5)A. Laasraoui and J. J. Jonas:ISIJ Int., 31(1991), 95.
 6)N. Sano, D. J. Min and T. Wakasugi:Proc. of 6th Int. Iron and Steel Cong., ISIJ, Tokyo, (1990), 279.
 7)J. W. Evans:Mathematical Modelling of Materials Processing Operations, ed. by J. Szekeley et al., (1987), 9.
 8)A. D. Rollet, U. F. Kocks, J. D. Embury, M. G. Stout and R.D.Doherty:Proc. 8th Int. Conf. on Strength Metals and Alloys(ICSMA 8), ed. by P. O. Kettunen et al., Pergamon Press, New York, (1988), 433.
 9)I. Kozasu:The 26th Shiraishi Memorial Seminar, ISIJ, Tokyo,(1994), 1.

⑤図・表のキャプションは、引用文献の後に頁を改めて英文で記載する。図・表中の文字も英文にする。

⑥表はTable, 図と写真は区別することなくFigureとして統一し、それぞれ通し番号を付け、本文原稿右余白にその挿入位置を記入する。

(a)Table及びFigureは、一つずつA4判の用紙に書き込みまたは貼り付け、右下隅に著者名を記入する。

(b)図は製版に直接使用できるように明瞭に作成する。通常の図は「鉄と鋼」の場合85mm幅、「ISIJ International」の場合84mm幅に縮小印刷されるので、文字の大きさに注意する。

(c)写真はスケールを記入し、厚手のA4判の用紙に貼り付ける。複数の写真よりなるFigureの場合は、それぞれの写真を(a), (b), ……のように示し、写真はスペースを空けずに貼り付ける。

(d)カラー写真は論文誌編集委員会で認められたものに限る、著者の実費負担により掲載できる。

(社)日本鉄鋼協会論文誌編集委員会

単位表

量	SI単位	併用単位	
平面角	rad	1° (度), 1' (分), 1" (秒)	
長さ	m	Å (オングストローム)	
面積	m ²	a (アール), ha (ヘクタール)	
体積	m ³	l, L (リットル)	
時間	s	min (分), h (時), d (日) [y (年) は不可]	
回転速度	s ⁻¹	min ⁻¹	
質量	kg	t (トン)	
圧力	Pa	bar (バール) [Torr, atm.ゲージ圧は不可]	
粘度	Pa · s	P (ポアズ)	
動粘度	m ² /s	St (ストークス)	
エネルギー	J	eVはジュールの単位で表記した後にOOJ (OOeV) と併記の場合のみ可	
温度差・間隔	K	°C	
無効電力		var (ベール)	
皮相電力		VA (ボルトアンペア)	
音圧・音響		dB (デシベル)	
モルエントロピー	J/(mol · K)	[Kの代わりに°Cは不可]	
組成, 濃度, 含有率	mol% mass% vol%	} [左記以外は使用不可]	
放射能	Bq		Ci (キュリー)
吸収線量	Gy		rad (ラド)
照射線量	C/kg	R (レントゲン)	
線量当量	Sv	rem (レム)	

接頭語一覧表

倍数	名称	記号
10 ¹⁸	エクサ	E
10 ¹⁵	ペタ	P
10 ¹²	テラ	T
10 ⁹	ギガ	G
10 ⁶	メガ	M
10 ³	キロ	k
10 ²	ヘクト	h
10	デカ	da
10 ⁻¹	デシ	d
10 ⁻²	センチ	c
10 ⁻³	ミリ	m
10 ⁻⁶	マイクロ	μ
10 ⁻⁹	ナノ	n
10 ⁻¹²	ピコ	p
10 ⁻¹⁵	フェムト	f
10 ⁻¹⁸	アト	a

参考基準キーワード一覧

**Production and Fabrication:
Process and Equipment**

agglomeration
coking
continuous casting
cooling
direct reduction
drawing
forging
forming
foundry
heat treatment
heating
hot metal treatment
ingot making
ironmaking
painting
powder metallurgy
press forming
protective coating
rolling
secondary steelmaking
steelmaking
thermo-mechanical treatment
welding

Materials and Products

alloying element
bar and rod
carbon steel
cast iron
castings
ceramics
coal
coke

cold rolled product
composite material
electrical steel
ferroalloy
forgings
fuel
high carbon steel
high strength low alloy steel
hot rolled product
iron ore
low alloy steel
low carbon steel
medium carbon steel
nonferrous metal
plate
precoated product
refractory
semi-finished steel
shapes
slag
stainless steel
steel for elevated temperature service
steel for low temperature service
structural steel
superalloy
titanium base alloy
tool steel
tubular product
ultrahigh strength steel
welded tubular product
wire

**Metallurgy and
Metallography**

crystal plasticity
crystal structure
diffusion
grain boundary
grain size
inclusion
interface
ladle metallurgy
lattice defect
metallography
metallurgical constituent
microscopy
phase diagram
phase transformation
physical chemistry
plastic deformation
precipitation
recrystallization
segregation
solid solution
solidification
texture

**Property and Service
Characteristics**

chemical property
corrosion
corrosion resistance
creep
ductility
fatigue
formability
fracture

hardenability
machinability
oxidation
physical property
strength
toughness
wear
weldability

**Instrumentation, Testing,
Chemical Analysis and
Management**

automation
computer
economy
element analysis
energy
environmental control
lubrication
maintenance
measurement
mechanical testing
modelling
nondestructive inspection
phase analysis
process control
production control
quality control
sampling
sensor
separation
simulation
surface analysis
utilities

Application Form for Publication in 「鉄と鋼(Tetsu-to-Hagane)」 / 「ISIJ International」

For office use only (協会事務局で記載)			
Receipt No. (受付番号)		Publication No. (掲載号数)	
		Estimated pages in printing (推定頁)	
Received on (受付日)		Accepted in final form on (受理日)	
Category (原稿の種類)	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄と鋼 <input type="checkbox"/> 論文 <input type="checkbox"/> レビュー <input type="checkbox"/> 寄書	ISIJ International <input type="checkbox"/> Regular article <input type="checkbox"/> Review <input type="checkbox"/> Note	
Title (題目)	English (英文)		
	(和文)		
Membership No. (会員番号)	Full name of every author (著者名・和文英文記載)	Affiliation (所属・和文英文記載)	Address (住所・和文英文記載)
Manuscript (原稿枚数)	Text(Incl. Synopsis)(本文 シノプシス含む) _____ Tables _____ Figures _____		
Author in charge of correspondence (国内は連絡者名・連絡先を日本語で記入)	〒 TEL FAX (ext.)	Statement of prior disclosure (既発表内容)	
		<input type="checkbox"/> No prior publication (他の刊行誌に未投稿) . <input type="checkbox"/> Published in CAMP-ISIJ Vol. (19), No. , p. (「材料とプロセス」に発表) <input type="checkbox"/> Published in Proceedings of International Conference on _____ _____ (国際会議発表) <input type="checkbox"/> Others _____	
Copyright: The submission of a paper implies that, if accepted for publication, copyright is transferred to The Iron and Steel Institute of Japan. The Institute will not refuse any reasonable request for permission to reproduce a part of the journal.			
Signature of representative author (代表者署名) _____			